

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 三井製糖株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井原芳隆

問合せ先責任者 (役職名) 業務本部経営企画部長 (氏名) 佐藤公昭

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 03-3663-3111

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	59,916	0.0	5,590	△5.5	6,045	△0.9	3,749	2.3
21年3月期第3四半期	59,916	—	5,919	—	6,102	—	3,666	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	27.40	—
21年3月期第3四半期	26.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	69,604	49,862	70.5	359.65
21年3月期	68,592	47,429	68.0	339.37

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 49,060百万円 21年3月期 46,671百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
22年3月期	—	3.00	—		
22年3月期 (予想)				4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,400	1.7	5,550	△13.5	5,980	△8.3	3,670	△7.2	26.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	141,667,400株	21年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	5,254,112株	21年3月期	4,145,475株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	136,833,659株	21年3月期第3四半期	137,535,504株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各国の経済対策や輸出の増加などにより、景気回復の兆しが見えてきておりますが、雇用や所得への不安感による個人消費の低迷やデフレ傾向など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループとして、継続的なコスト削減、製品の安定供給と食の安全・安心の確保に努めてまいりました結果、下記の通りの業績となりました。

売上高	59,916百万円（前年同期比 0.0%増）
営業利益	5,590百万円（前年同期比 5.5%減）
経常利益	6,045百万円（前年同期比 0.9%減）
四半期純利益	3,749百万円（前年同期比 2.3%増）

事業の種類別セグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

砂糖事業におきましては、インドの減産を主因に上昇基調にあった海外粗糖相場は、ブラジルの生産遅れに対する懸念が強まり、年末には29年ぶりの高値を更新するなど、原料コストの上昇が続いております。当社としては、慎重な原料調達に努め、経費管理を徹底するとともに、需要が伸び悩む中、適正価格での販売と「スプーン印」50周年キャンペーンによる家庭用の販売促進に取り組みました。

以上の結果、砂糖事業の売上高は53,843百万円、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は6,112百万円となりました。

期中の砂糖市況

国内市中価格（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり）

期初163～164円 安値163～164円 高値174～175円 期末174～175円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖現物、1ポンド当たり）

期初13.68セント 安値13.34セント 高値27.76セント 期末27.45セント

(食品素材事業)

食品素材事業におきましては、需要低迷と価格競争により、連結子会社も含め売上げが引き続き低調となる中、売値の維持や経費削減に努めました。

以上の結果、食品素材事業の売上高は4,944百万円、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は269百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、空室率の上昇が続くなど厳しい環境の中で、引き続き社有不動産の効率的活用と経費節減に努めました。

以上の結果、売上高は1,129百万円、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は700百万円となりました。

営業外損益においては、当社にとっては原料費の上昇要因である海外粗糖相場の高騰がタイ国原料糖会社及び国内甜菜糖会社の増益に寄与し、持分法による投資利益が223百万円前年同期を上回ったことなどにより、経常利益は6,045百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

〔連結財政状態の変動状況〕

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比1,012百万円増加し、69,604百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比1,605百万円増加し20,287百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加559百万円、受取手形及び売掛金の増加835百万円、原材料及び貯蔵品の増加590百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比592百万円減少し49,317百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による増加と減価償却による減少等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比1,420百万円減少し19,741百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加2,827百万円等があった一方で、借入金の減少2,727百万円、未払費用の減少981百万円、未払法人税等の減少400百万円、退職給付引当金の減少181百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比2,433百万円増加し49,862百万円となりました。これは主として、四半期純利益3,749百万円、剰余金の配当960百万円、自己株式の取得349百万円等によるものであります。なお、自己資本比率は70.5%と2.4ポイント改善しております。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は3,685百万円となり、前連結会計年度末と比較して558百万円の増加となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は5,737百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益6,080百万円、減価償却費1,642百万円及び仕入債務の増加額2,826百万円等により資金が増加した一方で、売上債権の増加額835百万円、たな卸資産の増加額592百万円、未払費用の減少額983百万円及び法人税等の支払額2,425百万円等により資金が減少したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は1,133百万円となりました。これは主として、投資有価証券の売却による収入220百万円等により資金が増加した一方で、有形固定資産の取得による支出1,364百万円等により資金が減少したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は4,044百万円となりました。これは主として、借入金の純減少2,727百万円、配当金の支払額959百万円、自己株式の取得による支出349百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想については、海外粗糖相場の一段の急騰が懸念され、また需要動向も不透明で不確実性が高く、平成21年10月30日に公表した業績予想を据え置きます。なお今後の情報収集、分析により見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,694	3,135
受取手形及び売掛金	5,262	4,427
商品及び製品	4,075	4,130
仕掛品	1,321	1,263
原材料及び貯蔵品	5,268	4,678
繰延税金資産	329	530
その他	345	529
貸倒引当金	△10	△13
流動資産合計	20,287	18,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,874	23,771
減価償却累計額	△15,578	△15,162
建物及び構築物(純額)	8,296	8,609
機械装置及び運搬具	38,559	38,947
減価償却累計額	△31,000	△31,012
機械装置及び運搬具(純額)	7,558	7,935
工具、器具及び備品	1,597	1,583
減価償却累計額	△1,350	△1,330
工具、器具及び備品(純額)	246	253
土地	19,727	19,727
リース資産	44	—
減価償却累計額	△5	—
リース資産(純額)	38	—
建設仮勘定	72	107
有形固定資産合計	35,940	36,632
無形固定資産		
無形固定資産合計	49	54
投資その他の資産		
投資有価証券	12,031	11,780
長期貸付金	139	181
繰延税金資産	121	117
その他	1,054	1,163
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	13,328	13,223
固定資産合計	49,317	49,910
資産合計	69,604	68,592

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,549	4,721
短期借入金	—	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,092	1,300
リース債務	8	—
未払費用	1,756	2,737
未払法人税等	797	1,197
未払消費税等	435	125
役員賞与引当金	48	67
その他	879	1,008
流動負債合計	12,567	12,959
固定負債		
長期借入金	1,306	2,026
リース債務	32	—
繰延税金負債	1,093	979
退職給付引当金	2,218	2,400
長期預り保証金	1,175	1,290
その他	1,348	1,506
固定負債合計	7,174	8,202
負債合計	19,741	21,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,254	1,254
利益剰余金	43,133	40,344
自己株式	△1,965	△1,616
株主資本合計	49,504	47,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	233	110
繰延ヘッジ損益	△5	△2
為替換算調整勘定	△671	△502
評価・換算差額等合計	△443	△394
少数株主持分	802	758
純資産合計	49,862	47,429
負債純資産合計	69,604	68,592

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	59,916	59,916
売上原価	45,790	46,355
売上総利益	14,126	13,561
販売費及び一般管理費		
配送費	2,075	1,938
役員賞与引当金繰入額	54	49
退職給付引当金繰入額	92	126
その他	5,984	5,856
販売費及び一般管理費合計	8,207	7,971
営業利益	5,919	5,590
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	45	49
持分法による投資利益	259	483
雑収入	127	119
営業外収益合計	440	656
営業外費用		
支払利息	66	38
固定資産除却損	—	66
デリバティブ評価損	64	—
雑損失	126	97
営業外費用合計	257	202
経常利益	6,102	6,045
特別利益		
投資有価証券売却益	—	44
固定資産処分益	72	—
特別利益合計	72	44
特別損失		
減損損失	—	9
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	18	—
たな卸資産評価損	33	—
特別損失合計	52	9
税金等調整前四半期純利益	6,121	6,080
法人税、住民税及び事業税	2,198	2,024
法人税等調整額	182	261
法人税等合計	2,381	2,286
少数株主利益	74	45
四半期純利益	3,666	3,749

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,121	6,080
減価償却費	1,629	1,642
固定資産処分損益 (△は益)	△72	△0
減損損失	—	9
投資有価証券評価損益 (△は益)	18	—
持分法による投資損益 (△は益)	△259	△483
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△186	△181
受取利息及び受取配当金	△52	△54
支払利息	66	38
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,108	△835
たな卸資産の増減額 (△は増加)	440	△592
仕入債務の増減額 (△は減少)	586	2,826
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△252	309
その他	△406	△622
小計	6,522	8,137
利息及び配当金の受取額	53	54
利息の支払額	△59	△35
法人税等の支払額	△2,552	△2,425
法人税等の還付額	—	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,964	5,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,186	△1,364
有形固定資産の売却による収入	74	1
投資有価証券の取得による支出	△144	△20
投資有価証券の売却による収入	68	220
その他	34	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,154	△1,133
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,100	2,770
短期借入金の返済による支出	△4,300	△4,570
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	1,500	—
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△1,500	—
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△1,089	△927
自己株式の取得による支出	△11	△349
自己株式の売却による収入	4	0
配当金の支払額	△963	△959
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	—	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,061	△4,044
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	748	558
現金及び現金同等物の期首残高	1,876	3,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,624	3,685

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	砂糖事業 (百万円)	食品素材 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	53,291	5,424	1,199	—	59,916	—	59,916
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	24	0	52	—	77	△77	—
計	53,316	5,424	1,252	—	59,994	△77	59,916
営業利益	6,551	220	684	—	7,456	△1,537	5,919

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	砂糖事業 (百万円)	食品素材 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	53,843	4,944	1,129	—	59,916	—	59,916
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	26	0	57	—	83	△83	—
計	53,869	4,944	1,186	—	60,000	△83	59,916
営業利益	6,112	269	700	—	7,082	△1,491	5,590

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は製品系列によって行っております。

2. 各事業区分に属する主要な製品及び商品等

事業区分	主要製品及び商品等
砂糖事業	精製糖、液糖、砂糖二次製品
食品素材事業	機能性甘味料(「パラチノース」「パラチニット」)、さとうきび抽出物、食品保存料、食品香料、食品用天然色素、寒天、カラギーナン
不動産事業	土地、店舗、倉庫、オフィスの賃貸業、倉庫業
その他事業	医薬品

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。